



TITLE:

和歌山県白浜町でトビ(タカ目, タカ科)が生きたクマゼミ(カメムシ目=半翅目, セミ科)を捕獲

AUTHOR(S):

久保田, 信

CITATION:

久保田, 信. 和歌山県白浜町でトビ(タカ目, タカ科)が生きたクマゼミ(カメムシ目=半翅目, セミ科)を捕獲. KINOKUNI 2010, 78: 13-13

ISSUE DATE:

2010-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/180706>

RIGHT:

© 和歌山昆虫研究会

(くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)

和歌山県白浜町でトビ (タカ目, タカ科) が生きたクマゼミ (カメムシ目 = 半翅目, セミ科) を捕獲
Milvus migrans (Accipitrida, Accipitridae) caught a living Cryptotympana facialis (Hemiptera,
Cicadidae) at Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

南紀地方では夏季に出現する (久保田・田名瀬, 1999, 2002 参照) 普通種のクマゼミ
Cryptotympana facialis (カメムシ目 = 半翅目, セミ科) が, トビ (タカ目, タカ科) に捕獲された稀
少例に遭遇したので記録する。2010 年 7 月 27 日 16 時 16 分に, 京都大学フィールド科学教育研究セ
ンター瀬戸臨海実験所の研究棟 2 階の久保田研究室の南向きの窓の外でクマゼミの尋常ならぬ鳴き声
が聞こえてきた。見ると, 1 羽のトビが飛翔しながら 1 個体の雄のクマゼミをくわえていた。このク
マゼミはそのトビが視界から見えなくなるまで鳴き続けていた。このトビは, おそらく飛行中のこの
クマゼミを捕獲したのであろう。食したかどうかは突き止められなかったが, このような捕獲記録は
珍しいと推察される。

引用文献

- 久保田 信・田名瀬英朋. 1999. クマゼミの遅鳴きの最近の記録. 南紀生物, 41 (1) : 64.
久保田 信・田名瀬英朋. 2002. 和歌山県白浜町の海岸付近におけるクマゼミの初鳴き.
南紀生物, 44 (2) : 114.

(くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)